

### ■ 三浦工業

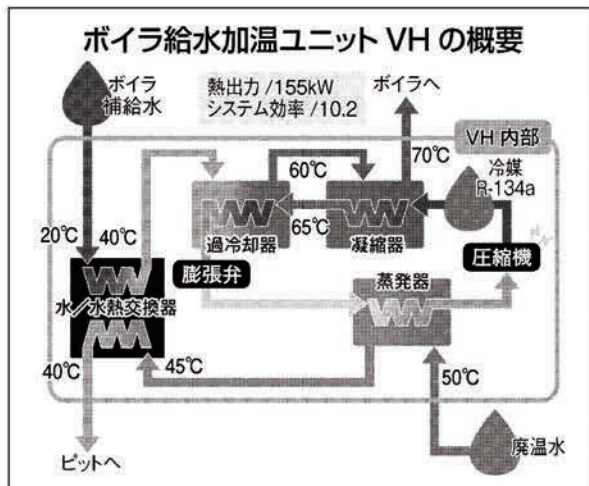
三浦工業は産業用ボイラで国内シェアの57%を持つ。高効率なボイラ性能と充実したメンテナンス体制で確固たる地位を築き、2019年に設立60周年を迎えた。省エネルギーに取り組む顧客の工場診断も手がけており、ニーズをくんでさまざまな周辺設備も開発。ボイラ給水加温ユニット「VH-155L」も顧客の「悩み」から生まれた製品だ。

VH-155Lはヒートポンプと熱交換器を組み合わせた装置。低温の廃温水の熱を利用して、ボイラ補給水の温度を事前に高めて、ボイラの燃料使用量の削減に貢献する。従来捨てていた熱を最大限活用することによりエネルギー消費効

## モノづくり現場

エレクトロヒート技術最前線 15

## ボイラ給水加温ユニット



率(COP)は一般的なヒートポンプと比べ、約2倍の10・2を達成。ボイラシステム全体で約5%の燃料削減を実現した。VH2台を導入し、レトルト殺菌装置の廃温水を利用する飲料工場ではCOP11を達成し、ボイラシステム全体で年間約780万円の燃料費を削減。またCOP11・4の高い効率で、年間約1200万円の燃料費を削減した飲料工場もあるという。

製品は13年に製品化。食品工場や飲料工場をターゲットにモデルチェンジも経て、累計販売60台以上の実績

を積み上げてきた。高省エネ性能などが評価され、2019年度の省エネ大賞で「資源エネルギー庁長官賞」を受賞している。

「今年初めて韓国向けの実績ができた」と熱利用技術統括部熱利用機器技術課の大谷和之課長は製品の広がり期待を寄せる。VHは廃温水を熱源としてボイラ補給水を加温するだけでなく、温水を使うさまざまな工場利用

（おわり）

## 燃料使用量の削減に貢献

「大谷課長」とする。海外市場も視野に入れ、ユーザーメリットにつながる省エネ性能や機器技術課の課題解決に役立っており、さらには使いやすい製品への進化を目指す。

（松山支局長・森野学彦）

【事業所概要】▽所在地 松山市堀江町7-0899・979・1230▽主要生産品目 貫流ボイラ、船用ボイラ、水処理、産業機器、滅菌装置など